



学校だより

平成30年度 第1号
発行日 4月13日
練馬区立大泉第二中学校
校長 関 基雄

大泉第二中学校 新たな伝統への1期生

校長 関 基雄

今年度区内の八坂中学校より着任しました関基雄です。どうぞよろしくお願いいたします。
昨年開校60周年を迎えた伝統あるこの大泉第二中学校に赴任し身の引き締まる思いです。

私は始業式の時に次のような話をしました。

『日本では60歳になる還暦といって赤いはんてんを着せてお祝いをする習わしがあります。これは暦を「えと」と言って十干と十二支をあわせて年を数えていくものでちょうど60年で1周するのです。そのことから人も60年生きると気持ちを改めあらたな出発ができるようにお祝いするのです。

この大泉第二中学校も昨年60周年を迎え還暦を迎えたこととなります。そして今年は新たな1年目の出発です。皆さんにもこの大泉第二中学校の新たな1年目を飾れるような活動をしてほしいと願っています。』

大二中に着任してまだわずかですが、その間でも生徒たちの立派な態度、ふるまいに目を見張る思いです。たとえば、入学式や始業式など儀式の際には姿勢を崩さず、話をしている人をしっかりと見て聞く態度、校内で出会う際にはどの生徒も気持ちのよい挨拶ができていて、そして校歌紹介では立派に歌い上げること、そして何よりも母校に誇りと自信をもって新入生に紹介していることなどです。こうした生徒たちの姿からこの60年間で培われてきた歴史と伝統というものを実感することができました。

さて、先にも述べましたとおり今年度は60周年を終えて新たな一歩を始める年です。そして「平成」と言われる最後の年でもあります。そうしたことから今年度私の学校経営のローガンを次のようにいたしました。

開校61周年 新たな伝統への1期生

これはやはり60周年というサイクルで一つの区切りをつけ、次の10年さらに60年に向けて今までの伝統に新たな伝統を築いていく第一歩としたいという願いを込めて作りました。その中で柱としていきたいのは「生徒が夢・希望を叶えられる学校」にしていくことです。そのために学力の定着向上、丁寧な進路指導を行っていき、生徒たちがさらにこの母校大二中に自信と誇りを高めてほしいと願っています。これには保護者、地域の皆様のお力がなくては成し遂げられません。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。